

# 第2回議会報告会 報告書



平成27年5月15日(金)午後7時～8時30分  
奈良市役所 西棟 3階 大会議室

奈良市議会



# I はじめに

奈良市議会は、第2回議会報告会を平成27年5月15日に開催いたしました。

当日お忙しい中ご参加いただいた皆様にもずもってお礼申し上げます。

このたび、第2回議会報告会の内容を報告書に取りまとめましたので市民の皆様にご報告させていただきます。

また、当日の様子は市議会ホームページで動画配信しておりますので、当日お越しになれなかった方もご覧になっていただければと存じます。

(ホームページアドレス <http://www.gikai-tv.jp/dvl-narashi/2.html>)

第2回議会報告会の開催については、第1回議会報告会の反省点も踏まえ広報広聴委員会を中心に、議会全体で検討してまいりました。

議員全員が一堂に会し、議会全体で開催する報告会として議員でつくり上げるため、資料の準備や会場設営、ご参加の方の会場への誘導など、議員により行いました。

市民の皆様に興味を持っていただけるよう、第1部においては平成27年度予算案を中心とした3月定例会における審査状況を報告し、続く第2部においてはその内容を中心にご参加の皆様から忌憚のないご意見をいただきました。

また、報告会終了後にアンケートを取らせていただき、当日発言できなかった方のご意見もいただきました。

今回頂戴したご意見をこれからの議会運営に活かしていくとともに、次回の議会報告会に反映させて市民の皆様にとって身近な親しみのある市議会となるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

## Ⅱ 議会報告会の概要

1. 主催 奈良市議会
2. 日時 平成27年5月15日（金）  
午後7時～午後8時30分
3. 場所 市役所西棟3階大会議室
4. 内容
  - 1) 開会のあいさつ  
『第一部 議会報告』
  - 2) 奈良市議会の概要について
  - 3) 平成27年3月定例会の概要について
    - ①総務分科会
    - ②観光文教分科会
    - ③厚生消防分科会
    - ④市民環境分科会
    - ⑤建設企業分科会
    - ⑥平成27年度予算審査報告
  - 『第二部 意見交換』
  - 4) 質疑及び意見交換
    - ①『第一部 議会報告』について
    - ②その他
  - 5) 閉会のあいさつ



5. 参加者 60人のご参加をいただき、質疑応答ではのべ11人の方々から報告に対する質問や議会に対する要望などを受けました。



### Ⅲ 議会報告会での質疑応答の要旨

(質問者については「市民」と、答については担当する「〇〇部門」等としています)

- ①**市民** 奈良市の未使用の土地、公社の土地とかたくさんあって、175億の借金を市民で年間10億ずつ、20年払っているのに、まだこんな状態かと物すごく不思議であり、納得できない。
- 総務部門** 未利用の土地については、市で勝手に処分するのではなく、今まで大事に使用されてきた土地や地域で大事な土地もありますので、売却等検討する際には、地域の意見もしっかり聞くよう質問している。それに対して市は、大きい土地については、しっかり地元要望を聞きながら処分も視野に入れ検討していくとのことであった。
- 市民** 周りの住民の意見を取り入れるのは確かに大事、皆さんが一生懸命やってるのもわかるけれども、もう少し奈良の土地問題とか、物すごく債権も抱えているはず。回収ももう少し本気でやってほしい。
- ②**市民** 昨年9月議会では、バンビーホームの年度内の延長保育の実現等々に御尽力いただきありがとうございます。その後の議会では、育成料の値上げについて可決されたと思う。私たち保護者も何度も議論を重ね、一部反対もあったが、このままではバンビーホームの保育の質が担保されないということで話し合った結果、値上げも承知した。それに関して、その後、私たちが申し入れた保育の質について、なかなか議論されたり、進んでいるようには思わない、どのように今後進めていくのか。
- もう1点、条例に基づき定員制が導入されると、待機児童が生まれる。待機児童が生まれてしまえば、結局、子育て世代とか、私たち納税する世代とか、そういう者が奈良市に住みにくくなってきかねないので、学校教育における福祉の後退に関してどのように考えるのか、どういうふうには私たちは信じて議会についていけばいいのか。
- 観光文教部門** 学童保育の質がどうなるかについては、理事者と委員会の中で、議論を重ねながら、保護者の方々の意に沿えるような形に持っていけるように努力していきたい。ただ、執行権は理事者側にあるので、それに対してどれだけ引き出していけるかというのは、議会側の努力、質によると思うので、その辺は期待いただきたい。
- また、定員については、施設の容量もあり、むやみに受けてしまうということも問題だと思う。そういうことも含めて、今の施設の中の状況を見ながら、しっかりと適正な人員配置ができるのか、またそれが待機という形にならないよう、理事者と相談しながら、委員会の中で議会として推し進めていきたい。
- ③**市民** 奈良市自治連合会の中では、クリーンセンターと火葬場の問題がいつも議題になる。執行権は市長で理事者が地元へ出向いて話をつけてきて、それで話がおさまる。だから、皆さんは高みの見物ではないか。決まったものの予算審議をするならあなたたちにも責任があるでしょう。少なくともクリーンセンター、また火葬場の問題、奈良市の市民みんなが注目している。あなたたちの姿勢は、市長が動かないから、理事者が何もしないから、そればかり。あなたたちも責任あるじゃないか。
- クリーンセンター、火葬場の問題、奈良市民みんなが考えているということを考えて、どうやって前へ進めていったらいいか一度皆さんで意見出して協議して欲しい。これは、連合会の中でみんなが議論しているし、皆さん関心持っている。少なくとも奈良市民み

んなが関心を持っているから、ぜひ皆さん方の総意と意見を回答としていただきたい。本当に真剣に考えてください。しっかりしてください。

○**議長** 私たちも本当に危惧しており、真剣に考えている。しかしながら、地元対策ができないとか、いまだに確かな返事をいただくことができないとか、何かといろいろな理由をつけられて前へ進まない。市民の皆さんのお怒りも私たちの考えていることと同じと思う。今の意見を真剣に捉えて、議会全体でもう一度委員会をつくるなり、幹事長会で拾うなりして、方向性をしっかり決めて、回答できるような場を持ちたい。

④**市民** 今、全国の自治体で、共産党による新聞「赤旗」の職員の方への強制購読が問題になっている。去年の5月に、この議会にもそれについての調査を求めるように陳情書が届いているはずである。新聞「赤旗」の強制購読に対する調査は行われているのか。もし強制購読が行われているとすると、これはやっぱり職員の方への心理的圧力、または思想・信条の自由の侵害に当たると思うので、即刻やめるべきだ。

○**司会** 御意見として承ります。

⑤**市民** 今回2回目で、議会も頑張っていると報告するには、ちょっともの寂しい感じがする。分科会からの報告は、3月議会の話で、議会や委員会は年間どう動いているのか。先ほどあった環境の話にしる、地域の財産の話にしる、それぞれの委員会がどういう活動をしているのか。

市民の負託に応えるために、今の議会運営をもう一度見直してもらいたい。

○**司会** 御意見として承ります。

⑥**市民** 精華小学校と帯解小学校の統合について報告にあった。学校規模適正化検討協議会にも5回参加している。そのときに、決定は市議会でされますと。校名、校歌、校章にしても市議会で決定されますと。学校名は帯解小学校に決まりましたが校歌と校章は変更されました。その辺はどういう検討の結果か。説明してください。

○**観光文教部門** 決定は議会ですが、それは理事者側から出てきた、学校規模適正化検討委員会で協議された中身を精査をした条例案が議会に上がってくる。その出てきた条例案に対して、議会としては認めるか認めないかなので、例えば決めてこられたものに対して正か否かという判断が、議会での判断になる。中身をどう検討したかと言われると、議案第42号で今回、一部改正の議案が出されている。それは、奈良市立学校設置条例の一部を改正する条例ということで、名称の変更が上がってきて、この議論を委員会の中で行った。

ただ、校歌、校章が変わるということに関して、議会でこれに変えろとか、こうするべきだということの議論ではありませんでした。

○**市民** 私の言いたいのは、こういう統合はこれからたびたび起こるだろうと思います。そのときに何を重視するかです。今回は精華小学校が約10%余り、帯解小学校が90%近い生徒数です。そういう統合をやるときに、なぜ学校名をそのままにして、校章とか校歌を変更する必要があるのか。はっきり言って、予算の無駄遣いです。そういうことの起こらないように、もっとしっかりしていただきたいということです。

○**観光文教部門** 今のような貴重な御意見をいただきながら、議会としてもしっかり理事者と話をしていきたい。

⑦**市民** 少子高齢化と人口減少が同時に起こっていますから、我々は今まで経験したことのないゾーンに入っているということは間違いない。私が議会に望みたいのは、政策立案能力がこれから問われる。もう一つは、痛みを伴う改革が避けて通れないから、市民に対して説明責任をちゃんと果たす。その2つが議員さんのこれからの役割かと思えます。

そこで、部分的な話ですがポイント制度について、私は、地域のコミュニティーを担っている人たちにポイントをつける方法を考えてみたい。今は高齢者福祉なのか、ボランティア育成なのか、商売を繁盛させるのかよくわからない。中途半端です。地域を担う、汗をかいている、情熱をかけてやっている人たちを支える、その人たちが支えられる身になったときに、それが使える、そういうポイント制度をぜひ考えていただきたい。

⑧**市民** 予算決算委員会の質疑のうち、奈良市自治連合会からの地域自治組織の検討に関する中間報告書の質問要旨で、市の取り組み、奈良市協働のまちづくり庁内検討委員会の進捗状況、地域コミュニティ実態調査の結果、この3点の質問があるが、答弁要旨には、地域コミュニティの実態調査の結果しか答弁がされていない。今、地元では、連合会会長を中心に地域の自治協議会を立ち上げて、取り組んでいるが、奈良市の取り組みと、検討委員会の進捗状況、これについてどのような答弁があったのか。

○**司会** これについては、質問者から説明します。

○**議員** 今の3点の質問、もう少し詳しく質問しているが、資料に載せる関係上、割愛してまとめている。私の質問に対して、理事者側からこれに沿った内容の答弁はなかった。

このことについては、私自身も地域で皆さんといろいろ議論をしているので、今後も地域の皆さんの意見を反映できるような自治組織をつくっていく仕組みを求めていきたい。そういったことを今後の議会からもしていきたい。6月議会でも引き続き議論していきたい。

⑨**市民** 水洗便所の債権の件ですが、この答弁が、余りにもばかな状態でこのまま終わるか。知識がなかったとかそんなあほなこと今どきあるのか。奈良市は、債権回収マニュアルという立派な本をつくっている。つくったものはきちっと使ってください。余りにもひどい。

○**司会** 御意見として承ります。

⑩**市民** 奈良市は、子育て支援の充実をうたっていると思うが、30人学級、35人学級の件もそうだが、この話が議会で出たときに、担当部長の答弁が、学校現場の要望を聞くと、特別支援の必要なお子さんがふえているので、そちらを手厚くしてほしいという要望が多いので、学級を少し人数をふやして、学級の数を減らして、その分、特別支援の担当の職員をふやしたというような答弁を聞いたと記憶している。それは結局、全体のお金がふえていないということ。

限られたお金の中でやりくりしているということだが、本当に子育て世代のこと、ひいては子供たちのことを考えているのか、市も議員も考えているのかと疑問に思う。

○**観光文教部門** 確かに30人学級、これは仲川市長の就任時に、マニフェストに載せられたものです。教職員に対する人件費は県費だが、30人学級を行うには、これは市費、奈良市の財源の中から30人学級のための先生を補っているの、非常に市の負担が大きい部分であったのは事実である。

そういったことも含めながら、今、国とも35人学級とか、いろいろなところで取り組んでいるので、奈良市だけではなく、県または国の中でのいろいろな補助の中で、教員の確保ができる形がとれるよう、市でできる範囲のところはしっかりやりながら、県費も国の費用も勘案して、奈良市議会としても取り組んでいきたい。

⑪市民 資料が、質問の要旨と答弁の要旨が比較対照のようになっている中で、答弁側が非常に粗末な形で終わっているものが幾つかある。つまり、答えじゃないような答えで終わっている。この報告会で報告するような形になっているのかということをお願いしたいのが1つ。こういうのを我々が聞いてどうなのか。

議会報告会の冊子、せっかく印刷までしているのに、こんな形で答え出して、はい終わりですか。分科会の報告も読むだけの方もいた。そうじゃなくて、わかる言葉でしゃべっていただかないと。わかりやすいように言っていた方もあった。

それと、付託議案の一覧も結果は最後を見ないとわかりません。質問と議案との兼ね合いも何かすごくわかりにくい。見たらわかるようなことを非常にあちこちめくらないとわからないし、内容はというたら、答弁の内容、こんなでしたという。聞いているのも情けないような状態。せっかくこれだけつくっても、もったいない。

今やっているのは質疑及び意見交換。意見交換って同等の立場で話し合いをすることと違いますか。意見交換になっていますか。

タイトルが報告会やから、一方的に聞くような内容になっている。でも、意見交換というのなら、報告会とならない部分があるんじゃないか。意見を言いたい方がたくさんいるので、タイトルをもうちょっと考えると、もっと工夫をしていただきたい。

○司会 御意見、今後の議会報告会開催の参考にさせていただきたいと思えます。



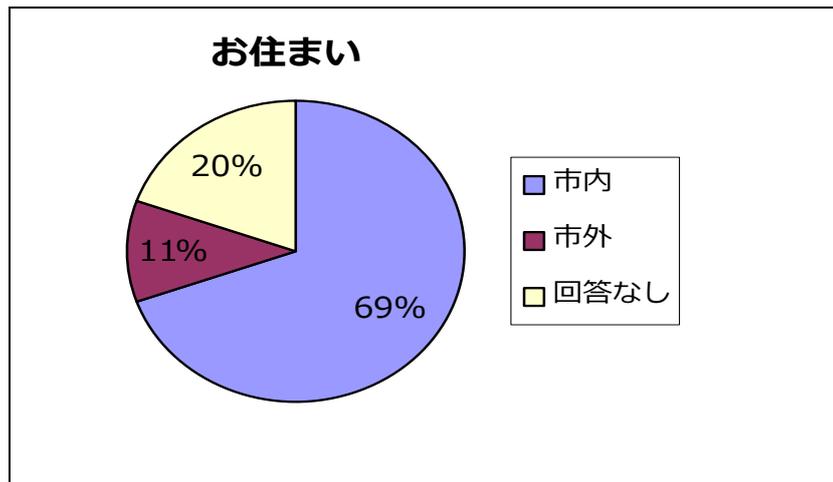
## IV 参加者アンケートの結果

60人の参加者のうち、46人の方々からアンケートにご協力をいただきました。  
ありがとうございました。

### 1. 参加者の住所・年齢・性別・職業

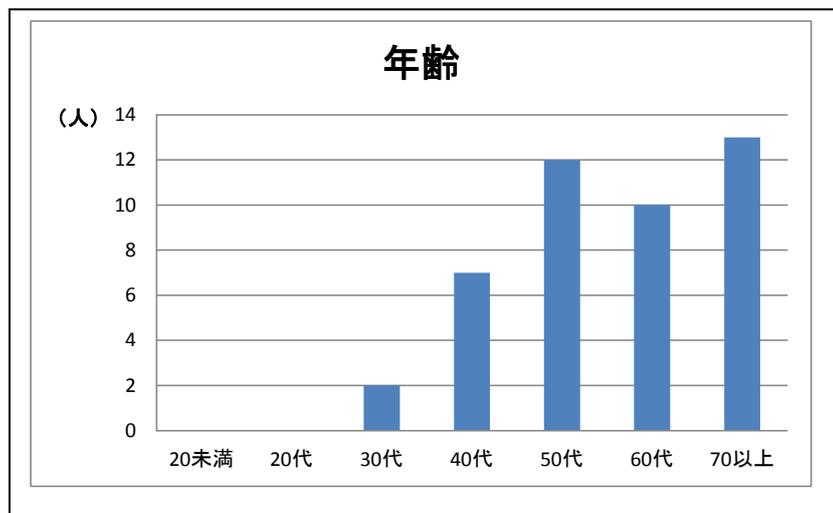
#### ①住所

- ・市内 32人
- ・市外 5人
- ・回答なし 9人



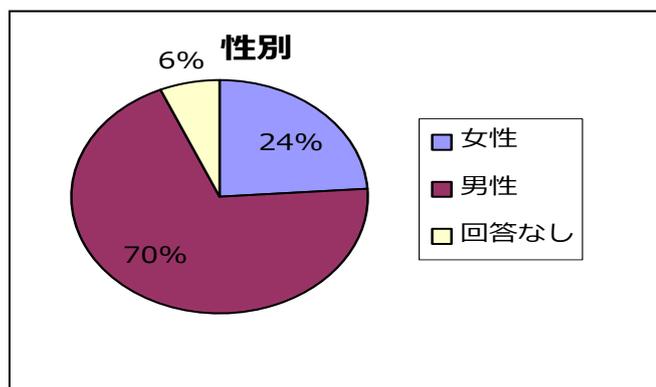
#### ②年齢

- ・20歳未満 0人
- ・20代 0人
- ・30代 2人
- ・40代 7人
- ・50代 12人
- ・60代 10人
- ・70代以上 13人



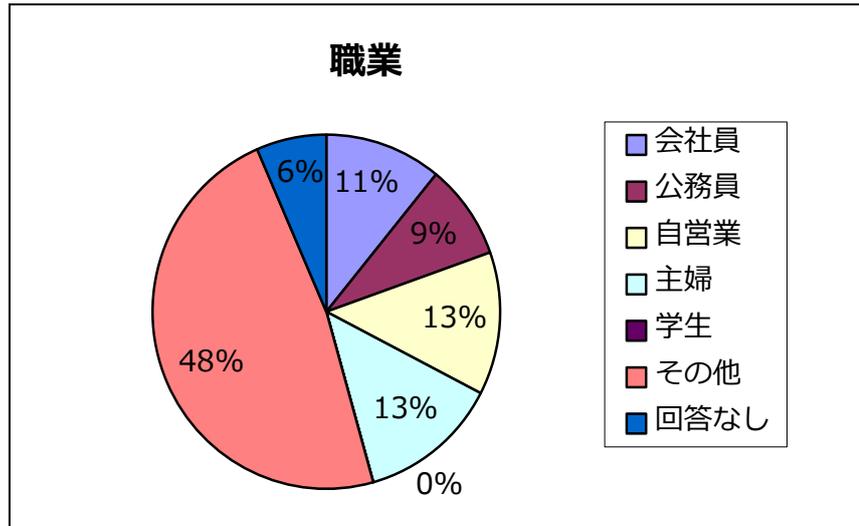
#### ③性別

- ・女性 11人
- ・男性 32人
- ・回答なし 3人



#### ④職業

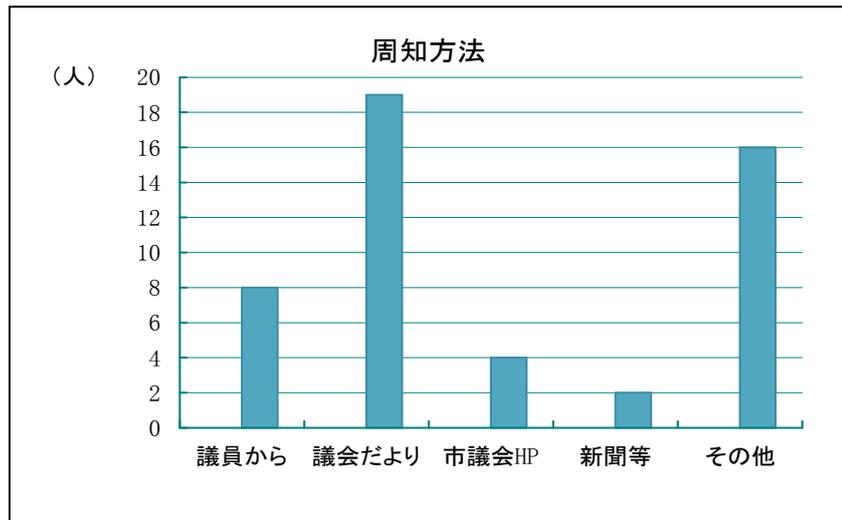
- ・会社員 5人
- ・公務員 4人
- ・自営業 6人
- ・主婦 6人
- ・学生 0人
- ・その他 22人
- ・回答なし 3人



## 2. 議会報告会の情報はどこから知りましたか

(複数回答)

- ・議員から 8人
- ・議会だより 19人
- ・市議会HP 4人
- ・新聞等 2人
- ・その他 16人

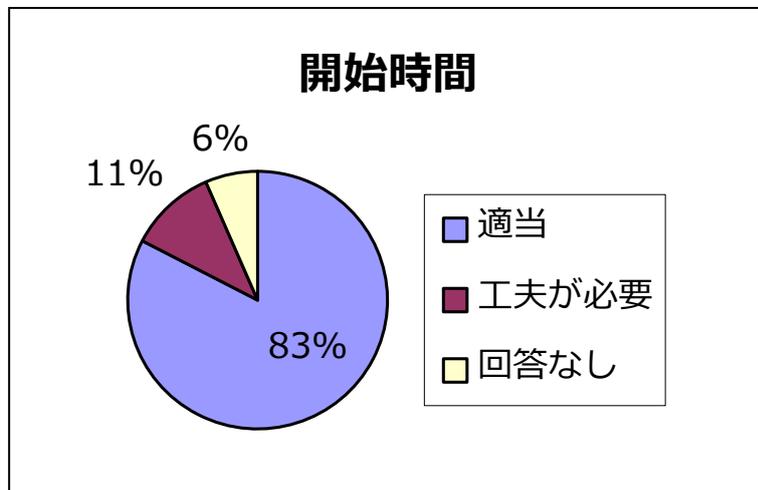


## 3. 開始時間・会議時間について

### ①開始時間

- ・適当 38人
- ・工夫が必要 5人
- ・回答なし 3人

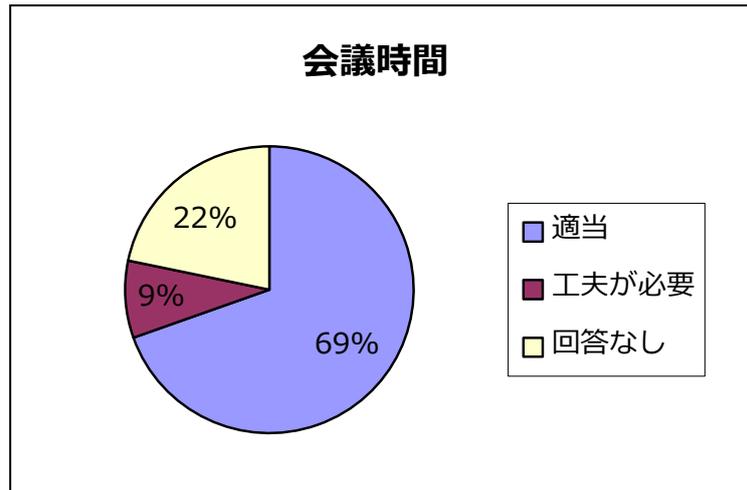
※必要な工夫として、  
○早い時間の開催  
○休日の開催  
とのご意見をいただきました。



## ②会議時間

- ・ 適当 32人
- ・ 工夫が必要 4人
- ・ 回答なし 10人

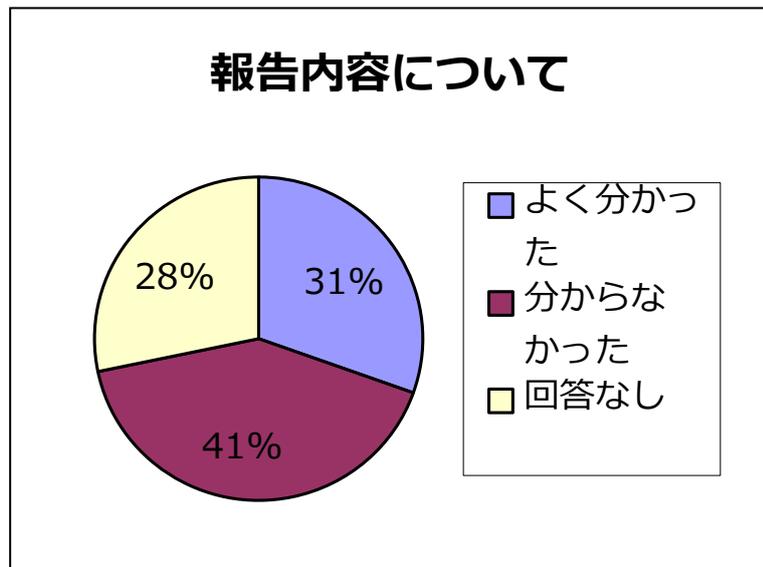
※必要な工夫として、  
○説明を充実  
○質問時間を長く  
とのご意見をいただきました。



## 4. 報告内容について

- ・ よくわかった 14人
- ・ 分からなかった 19人
- ・ 回答なし 13人

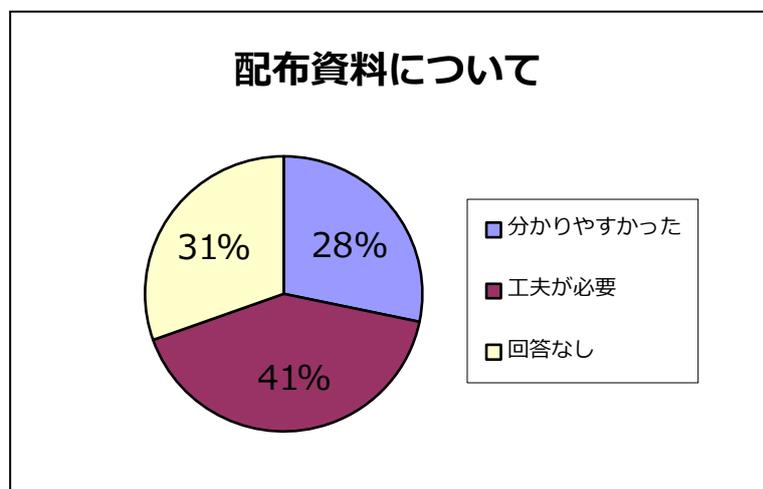
※工夫すべき点として、  
○国会答弁より悪い  
○独特の言い回し  
○まとめ方が雑  
○理解できる用語で話す  
○強弱、抑揚をつける  
○読み上げるだけの説明  
○担当一丸で事務をする姿勢  
○結論が出ていない  
とのご意見をいただきました。



## 5. 配布資料について

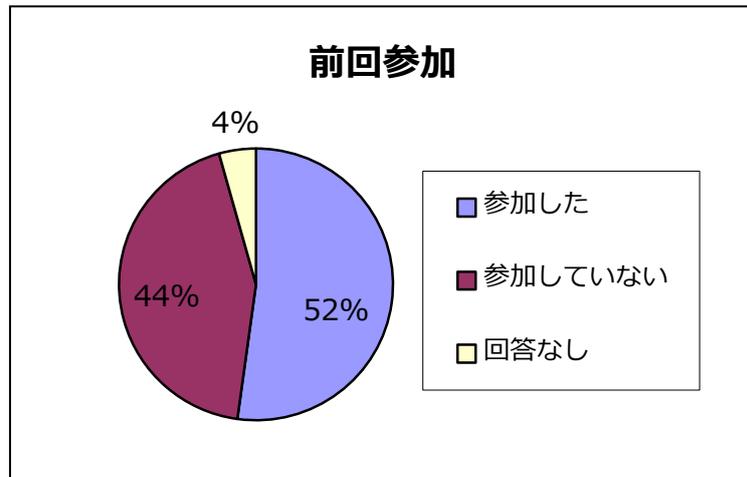
- ・ 分かりやすかった 13人
- ・ 工夫が必要 14人
- ・ 回答なし 14人

※工夫すべき点として、  
○わかりにくい、見にくい  
○説明の順に掲載  
○専門用語をなくす  
○まとめ方が雑  
○分かりきった説明が多い  
○網羅しすぎ、総花的  
とのご意見をいただきました。



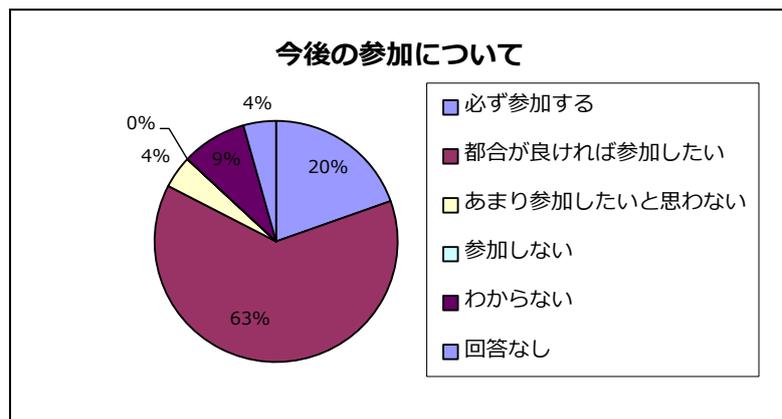
## 6. 前回の参加について

- ・ 参加した 24人
- ・ 参加していない 20人
- ・ 回答なし 2人



## 7. 今後の参加について

- ・ 必ず参加する 9人
- ・ 都合が良ければ参加したい 29人
- ・ あまり参加したいと思わない 2人
- ・ 参加しない 0人
- ・ わからない 4人
- ・ 回答なし 2人



## 8. その他（意見・要望など）について

（自由記入）

- 「初めての参加でいまひとつ理解できなかった。」
- 「もっと広い場所で、もっと人を集めて」
- 「議会だよりが貧弱。報告会の資料は充実していた。」
- 「答弁がない。単に聞いておくだけでは進歩がない。」
- 「資料、報告の仕方に工夫が必要。第2部は意見交換の場になっていない。」
- 「聴覚障がい者への配慮（手話通訳等）が必要。」
- 「質問時間が短すぎる。」
- 「質問・答弁後の意見も報告してほしい。」
- 「わかりやすく報告してほしい。」
- 「ただ書類を読むだけなら意味がない。」
- 「言いつばなしは無責任。発言に責任を持つべき。」
- 「意見交換は各議員の主張が違っているので無理。回答できないことにも明確な終わり方を」
- 「市民に開かれた場を持つことは良いこと。」

「内容については今後工夫を積み重ねて改善したら良い。」  
「議会事務局の組織・意識改革を進めて。」  
「子ども連れの方の配慮を」  
「市議会の意見を聞きたい。」  
「市長提案と市議の提案がわからない。建設的な議題があまりない。」  
「意見交換になっていない。報告会の内容を工夫して検討し直しては。」

